

令和7年度 岐阜市地域福祉推進委員会 議事録

1 開催日時

令和8年2月6日（金） 13：30～14：36

2 開催場所

岐阜市役所 庁舎6階 6-1大会議室

3 出席委員（13名）

岐阜市青少年育成市民会議

岐阜市身体障害者福祉協会

岐阜市医師会

岐阜市赤十字奉仕団

岐阜市自治会連絡協議会

中部学院大学

岐阜市介護支援専門員連絡協議会

公募

公募

岐阜市民生委員・児童委員協議会

岐阜市老人クラブ連合会

岐阜市社会福祉協議会

岐阜県社会福祉士会

石井 了

五十川 勝也

今泉 松久

上田 千衣子

桐生 伸治

佐甲 学

佐藤 有紀子

篠原 輝政

高橋 誠司

服部 芳靖

水谷 照男

横山 克徳

吉田 麻美

（五十音順、敬称略）

4 議事次第

1 開会

2 議事

第3期岐阜市地域福祉推進計画 今年度の取組について

3 閉会

議事概要

1 開会	
	(確認事項)
2 議事 第3期岐阜市地域福祉推進計画 今年度の取組について	
事務局	(「第3期岐阜市地域福祉推進計画 今年度の取組について」説明)
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・取組を聞いて、協力していかなければいけないと改めて思っている。 ・民生委員向けに、自殺者をなくしていこうということから、自殺防止対策としてゲートキーパーについて研修会を開催した。 ・地域向けには、「水と健康づくり」として公民館講座も開催した。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員は、地域福祉の担い手であるので、引き続きお願いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロンを行っているが、参加者が急激に減少している。専門職の力を借りて内容を充実したという事例を聞いたが(P23)、どこにお願いすればよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地区に、地域福祉コーディネーターを配置している。サロンの内容についてはそのコーディネーターにお尋ねいただければ、市内各所で行っているサロンの情報共有や、様々な提案ができる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・CSWについては、非常に期待している。 ・地域の中で支援が必要な人が出たときに、包括支援センターに連絡して課題を整理して民生委員や岐阜市社会福祉協議会など、必要な機関へつないでもらっている。支援機関同士で横の連携をとってもらいたい。 ・守秘義務がある中ででの支援になると思うが、許される範囲で情報共有を図りたい。 ・高齢者の居場所づくりが進んでいることに感謝する。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・CSWについて、東部地域では地域包括支援センターが活発に活動されていて、今後さらに連携を強めていきたいと考えている。全市展開を見据え、モデル地域での課題等を洗い出しながら進めていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・CSWの増員をお願いしたい。民生委員は専門職ではないので、相談を受けた時に相談できる専門職がいるとありがたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・推進していくという理解でよいかと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、この会議で権利擁護の身元保証について、推進すべきと提案したが、今回の資料に「身元保証」について、触れられていない。どうなったのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・身元保証を含む権利擁護の制度設計は、現在国が検討している。その動向を見つつ、市や社協としてできることを検討したい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の法改正で制度構築を行うのではないかとされている大きな政策である。そこに合わせてという理解でよいかと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂を実施しているが、ひとり親の家庭から移動手段がなく食堂に行けないと連絡が入ることがある。 ・高校生などからボランティアに興味があるから一緒にやりたいと連絡をもらうこともある。 ・市LINE公式アカウントの見守りサービスはとてもよい取組だと思う。ただし、元

	<p>気な方でも2回連続で回答がない場合も通知は行ってしまうが、実際に何か問題は生じていないか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> アラートは登録された家族や友人に通知される仕組み。誰にどのぐらいの頻度でアラーム通知があるかなどの監視はしていない。見守る方が遠方であった場合、市や地域包括支援センターに連絡をいただくことで、安否確認をすることは想定している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 働いている方が家族のことで相談したい場合、平日の夕方や土日にケアマネジャーが訪問することで対応することが実感として増えている。新たな居場所の開催方法の多様化について、土日や平日の夕方に開催できれば、そこが相談窓口となり、必要な支援機関への橋渡しが可能となる。また、そこに行けば必要な情報がもらえるといった場所となれば、地域の方の住みやすさや福祉課題の解決の新たな道筋が見えると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 居場所については、今年度のヒアリング、来年度のアンケート調査を行いながら検討していきたいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブは会員数が5年前に比べて半減しているため、団体内の「見守り」も難しくなっている。現在もいろんな団体、職種の方に見守っていただいております、引き続きお願いしたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブは自ら健康づくりをする一つのモデルでもあり、引き続き活動の推進をお願いしたい。
3 閉会	
	(事務局あいさつ)

- 以上 -